

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 理 科

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	<p><現状> わかりやすいと答える生徒がほぼ100%であり、おおむね良好である。生徒の興味を引く授業を行い、生徒は授業に積極的に参加している。</p> <p><課題> 計算問題の単位を扱う問題になると、生徒により理解度の差が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を踏まえて、単位の換算の練習、計算練習などの反復練習を行う。 日常生活と関連づけて、生徒の興味を引き出せるように行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 定期考査 生徒アンケート 	<p>「教え方がわかりやすい」と答えた生徒の割合は約97%と良好である。</p> <p>1学期はほぼ100%教え方がわかりやすいと答えたところから、やや低下したので、指導を工夫したい。</p>	<p>視聴覚教材ではデジタル教科書の動画やNHK for schoolなどを利用して、生徒に飽きさせない授業を展開していきたい。</p>
2年	<p><現状> わかりやすいと答える生徒が98%を超えており、おおむね良好である。生徒は理科に興味を持ち、授業に積極的に参加している。</p> <p><課題> 生徒の基礎学力の差が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の定着を図るために、発問回数を多くし、計算練習や小テストをより多く実施する。また、単元のはじめに、小学校の復習などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 定期考査 生徒アンケート 	<p>「教え方がわかりやすい」と答えた生徒の割合は約96%と良好である。</p> <p>1学期から教え方がわかりやすいと答えた生徒から、やや低下したので、小テストなどを適時行いたい。</p>	<p>小テストなどを利用して知識の定着、視聴覚教材を利用して飽きさせない授業を展開していきたい。</p>
3年	<p><現状> わかりやすいと答える生徒が95%を超えている。基本的な知識を多くの生徒が定着している。意欲的に授業に参加している生徒が多い。</p> <p><課題> 知識を用いて論理的に考えることを苦手とする生徒が多い。また、図表やグラフから目的とする内容を読み取り、考察することに課題を持つ生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 視覚教材を用いて身近な事象と関連づけて学習を進め、意欲的に授業に参加できるようにする。 論理的に表現する型を提示し、その型にそって考察できるように支援する。 学び合いができる環境をつくり、考えを表現し合う中で、課題解決できる力を養う 	<ul style="list-style-type: none"> 実験レポート 小テスト・演習問題 プリントチェック 発言チェック 	<p>「教え方がわかりやすい」と答えた生徒の割合は約98%と良好である。</p> <p>知識の活用に意欲的な生徒が増えてきている。引き続き、学習内容と関連する事象を取り上げていく。</p>	<p>生徒は意欲的に学習に取り組んでいる。デジタル教科書等の視聴覚教材を活用した観察・実験の疑似体験も有効だった。観察・実験やグループ学習などの学び合いができる学習場面をさらに増やしたい。</p>